

埼玉県景気動向指数

2018(平成30)年1月分(改訂版)の概要

平成30年4月13日
埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数(CI一致指数)は、足踏みを示している。

2 指数の動き

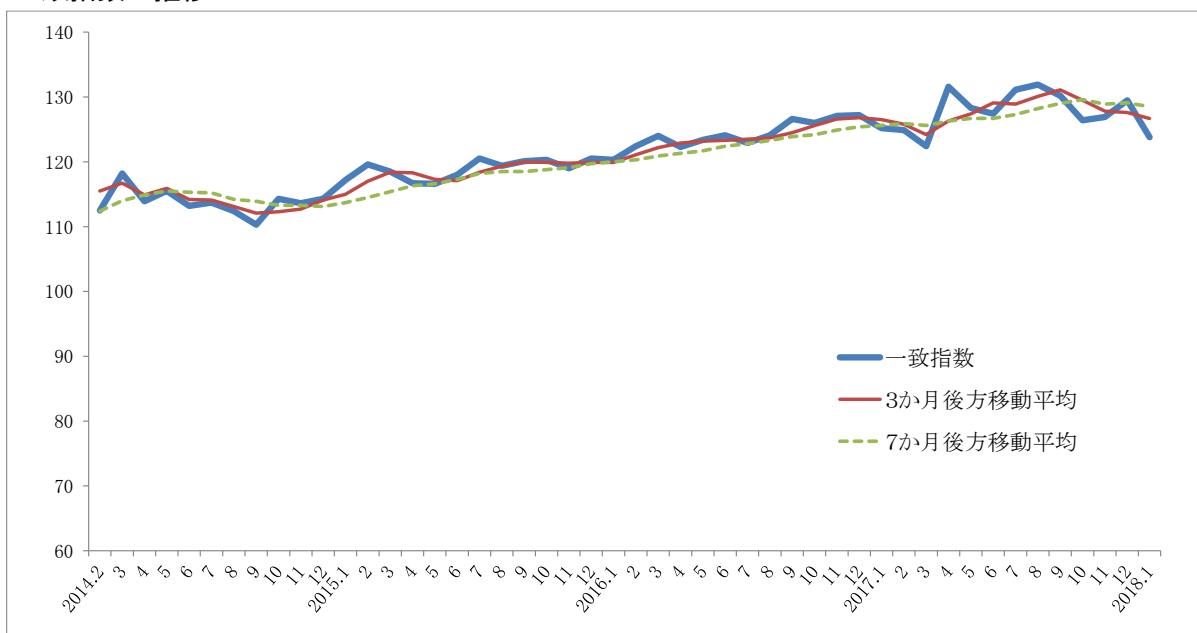
- 1月のCIは、先行指数：97.2、一致指数：123.8、遅行指数：123.2となった。
(平成22年=100)
- 先行指数は、前月と比較して0.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.63ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.74ポイント上昇し、18か月連続の上昇となった。
- 一致指数は、前月と比較して5.7ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は、0.87ポイント下降し、4か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.52ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して3.6ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は、1.17ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.62ポイント上昇し、10か月連続の上昇となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	0.77	C3: 県投資財出荷指数	-1.75
C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	0.20	C4: 県有効求人倍率(除学卒)	-1.57
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	0.14	C1: 県生産指数(製造工業)	-1.55
		C8: 県生産財出荷指数	-1.37
		C9: 県耐久消費財出荷指数	-0.53
		C7: 県百貨店・スーパー販売額	-0.03

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移



※平成30年3月30日に公表した景気動向指数では、毎月勤労統計調査の平成30年1月分の公表が3月から4月に延期となったため、C2:県所定外労働時間指数(調査産業計)、LG2 県常用雇用指数(全産業)、LG7 県名目賃金指数(定期給与・製造業)のデータは反映していませんでした。

今回の改訂版は、毎月勤労統計調査の平成30年1月分までのデータを使用して再推計したものです。